

7 月チャプレン便り

「外見ではなく」

アメリカのカリフォルニア大学の調査によりますと小学校4年生の女の子の80%が減量のためにダイエットしているそうです。人の価値は外見で決まると、こどもたちまでが思っているなんて悲しいことです。ある調査では、6歳の子たちでさえ肥満気味の人を見て「みにくい」と思っています。ある小学生は、「人に馬鹿にされたくないからやせるの」と言いました。

子供たちがこれほどまでに、やせることにこだわるのに理由がないわけではありません。こどもたちは大人の考えに影響されているのです。私たち大人たちは外見で人を判断しがちです。大人同士がそんな目で人を見ることは悲しいことですが、多くの幼いこどもたちが自分には、のぞみがないと考えているとしたら、まさにこれは悲劇です。

毎日のように目に飛び込んでくるダイエットの情報や広告によって、なんと多くの大人たちが、傷つき、動揺していることでしょう。出産や年齢によって、体のラインが変わっていくことは、ごく自然なことなのに、それに罪悪感をもっているのです。人の価値は、外見で決まるものではありません。

聖書の中に、ダビデという少年が登場してきます。やがてイスラエルの王様になる人です。このダビデ少年は、体は小さいのにライオンをやっつけたり、巨人のゴリアテを倒したりして、子供たちには大人気です。体は小さく特別ハンサムでもありませんでしたが、いつも神様に目を注ぎ、血色が良く、目はキラキラと輝いていました。

ある時、神様がイスラエルの王様になる人を選び祝福することになりました。エッセイの8人のこどもたちが呼ばれました。その中で、一番背が高くハンサムでカッコイイのは、長男のエリアブでした。彼が神様に選ばれると思いましたが違いました。神様が選ばれたのは、末っ子のダビデだったのです。

そのときに神様が語られた有名な言葉があります。

「顔や身のたけをみてはならない。わたしはすでにその人を捨てた。わたしが見る場所は人と異なる。人は顔かたちを見る、主は心を見る」。(サムエル記上16:7)